



CASBEE横浜2017年版v.1.5  
横浜鶴見リハビリテーション病院

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.5

スコアシート	実施設計段階	重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>								<b>2.9</b>
<b>Q1 室内環境</b>								<b>2.9</b>
<b>1 音環境</b>				<b>2.6</b>	0.15	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
1.1 騒音				3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音				<b>3.0</b>	0.40	<b>3.0</b>	0.40	-
1		開口部遮音性能		3.0	0.40	3.0	0.30	-
2		界壁遮音性能		3.0	0.60	3.0	0.30	-
3		界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	-
4		界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	-
<b>2 温熱環境</b>				<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御				<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	-
1		室温 快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.38	3.0	0.57	-
2		外皮性能 快適・働きやすさ 健康・安心 ⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	-
3		ゾーン別制御性 快適・働きやすさ ⑨温熱環境		3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御				<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	-
2.3 空調方式				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	-
<b>3 光・視環境</b>				<b>2.6</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>2.9</b>
3.1 昼光利用				<b>1.8</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	-
1		昼光率 快適・働きやすさ ⑩光環境		1.0	0.60	5.0	0.60	-
2		方位別開口 快適・働きやすさ ⑩光環境		-	-	-	-	-
3		昼光利用設備 快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	-
1		昼光制御 快適・働きやすさ ⑩光環境		3.0	1.00	3.0	1.00	-
3.3 照度				<b>3.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	-
3.4 照明制御				<b>3.0</b>	0.25	<b>5.0</b>	0.25	-
<b>4 空気環境</b>				<b>3.7</b>	0.25	<b>3.5</b>	1.00	<b>3.6</b>
4.1 発生源対策				<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	-
1		化学汚染物質 快適・働きやすさ ⑪空気環境		4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気				<b>2.5</b>	0.30	<b>2.6</b>	0.38	-
1		換気量 快適・働きやすさ ⑪空気環境		4.0	0.50	4.0	0.33	-
2		自然換気性能 快適・働きやすさ ⑪空気環境		-	-	3.0	0.33	-
3		取り入れ外気への配慮 快適・働きやすさ ⑪空気環境		1.0	0.50	1.0	0.33	-
4.3 運用管理				<b>5.0</b>	0.20	-	-	-
1		CO <sub>2</sub> の監視 快適・働きやすさ ⑪空気環境		-	-	-	-	-
2		喫煙の制御 快適・働きやすさ ⑪空気環境		5.0	1.00	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>				-	0.30	-	-	<b>3.2</b>
<b>1 機能性</b>				<b>3.5</b>	0.40	<b>4.4</b>	1.00	<b>3.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ				<b>4.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	-
1		広さ・収納性 快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	5.0	1.00	-
2		高度情報通信設備対応 快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	-	-	-
3		バリアフリー計画 快適・働きやすさ ⑫機能性		4.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.5</b>	0.40	-
1		広さ感・景観 快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	4.0	0.50	-
2		リフレッシュスペース 快適・働きやすさ ⑫機能性		-	-	-	-	-
3		内装計画 快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	1.00	3.0	0.50	-
1.3 維持管理				<b>3.5</b>	0.30	-	-	-
1		維持管理に配慮した設計 快適・働きやすさ ⑫機能性		4.0	0.50	-	-	-
2		維持管理用機能の確保 快適・働きやすさ ⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>				<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震				<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
1		耐震性 防災 ⑮耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2		免震・制振性能 防災 ⑮耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数				<b>3.0</b>	0.30	-	-	-
1		躯体材料の耐用年数 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2		外壁仕上げ材の補修必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
3		主要内装仕上げ材の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
4		空調換気ダクトの更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5		空調・給排水配管の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
6		主要設備機器の更新必要間隔 防災 ⑯部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性				<b>2.8</b>	0.20	-	-	-
1		空調・換気設備 防災 ⑰信頼性		1.0	0.20	-	-	-
2		給排水・衛生設備 防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
3		電気設備 防災 ⑰信頼性		4.0	0.20	-	-	-
4		機械・配管支持方法 防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
5		通信・情報設備 防災 ⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	1.00	<b>3.0</b>
3.1 空間のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	-
1		階高のゆとり		3.0	0.60	3.0	0.60	-
2		空間の形状・自由さ		3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり				<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	-
3.3 設備の更新性				<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1		空調配管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
2		給排水管の更新性		3.0	0.20	-	-	-
3		電気配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
4		通信配線の更新性		3.0	0.10	-	-	-
5		設備機器の更新性		3.0	0.20	-	-	-
6		バックアップスペースの確保		3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.5  
横浜鶴見リハビリテーション病院

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.5

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30	-	-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑩地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑭敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.0
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
4 効率的運用				2.0	0.20	-	-	2.0
集合住宅以外の評価				2.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		1.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	3.3
1 水資源保護				3.4	0.20	-	-	3.4
1.1 節水				4.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
2 非再生性資源の使用量削減				3.4	0.60	-	-	3.4
2.1 材料使用量の削減				3.0	0.11	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.22	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				3.0	0.22	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				-	-	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				5.0	0.22	-	-	-
3 汚染物質含有材料の使用回避				3.0	0.20	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用				3.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				3.4	0.33	-	-	3.4
2 地域環境への配慮				2.6	0.33	-	-	2.6
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				2.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				3.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				5.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 周辺環境への配慮				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>					-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>					-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>					-	-	-	-
<b>健康と安心</b>					-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-